



表紙・特集 留学生等による 国際理解学習支援プログラム	P 1~2
事業報告 地域共生サポーター養成講座・ 研修会 ほか	P 3~5
外国人エッセイ 私の何でも自慢 ケルガード・タイラーさん	P 6
語学講座のご案内 日本語講座	P 7
ボランティア活動しています! 永井 来人さん	P 8
作ってみよう!世界のレシピ モーリオ・ピナグレッチ(ブラジル)	P 8
JICA×岡山	P 9
令和6年度語学講座	P 10

おかやま 国際交流



早島小学校にて



留学生等による国際理解学習支援プログラム

岡山在住の留学生等が1日講師となり各小学校を訪問します。このプログラムの目的は、「いろいろな国・地域の講師との交流を通じて異なる文化や習慣に触れ、相手を理解する力を養い、世界への関心と外国語の学習意欲の向上を図る」ことです。岡山県教育委員会が行う「外国語教育事業」の実践研究校を対象として、令和5年度は希望のあった6校に、延べ16名(9の国・地域)の講師が出向き児童たちと楽しく交流しました。



留学生等による国際理解学習 支援プログラム

関連団体：岡山県教育庁義務教育課

授業は2部制で、前半は座学です。各講師が工夫を凝らして作った映像データを使いながら自分の出身地の紹介をします。内容は、地理や歴史、衣食住や母語、はやりの遊びなどいろいろです。映像で見る初めての風景や珍しい習慣、食べたことのない食事等に、児童はとても興味深い様子でした。

後半は講師が提案するゲームやクイズ、歌やダンス等と一緒に楽しみ、お互いの距離がぐっと縮まり会話もはずみ、児童から「もっとお話がしたい」と別れを惜しむ声がたくさん聞かれました。

9月29日(金) 久米南町立弓削小学校

講師：カナダ、ペルー 計2名

ペルーの山岳地帯出身の講師が、公用語のスペイン語のほか原住民族の言語であるケチュア語や民族舞踊を披露し、全員で楽しく踊りました。



ペルーの山岳地域を説明中

10月19日(木) 里庄町立里庄東小学校

講師：ウズベキスタン、カナダ、マレーシア 計3名

2年生の授業では、講師がマレーシアの伝統工芸のバティック(ろうけつ染め)を着用しマレーシアの文化などを児童に紹介しました。

4年生は英語で授業を行い、日常会話の練習をしました。



バティックを着た講師と話す児童

11月27日(月) 鏡野町立奥津小学校

講師：米国、香港 計2名

香港の高層ビルの夜景や景勝地の映像を楽しんだ後、香港の指数えで遊びました。児童たちは日本との違いを楽しみ繰り返し練習しました。また、ハワイ島には日本の国立天文台が運営する天体観測所があり標高3000m超にある観測所は雪に覆われているという南国ハワイの別の一面を知り、児童たちは驚いていました。



1,2,3,4...指数えを練習中

10月10日(火) 早島町立早島小学校

講師：カナダ、中国、フィリピン、ベトナム 計4名

伝統衣装を題材にして中国の紹介をした講師は、自ら衣装を着て参加し、児童にも試着をさせていました。後半のダーカウ(羽根を蹴って遊ぶベトナムの国民的スポーツ)や切り絵等の遊びも好評でした。



漢服を披露する講師

後日、児童から各講師に対してお礼のメッセージが届き、受け取った講師たちは大変喜んでいました。

11月14日(火) 勝央町立勝央北小学校

講師：中国、ベトナム、香港 計3名

合唱・合奏発表会を鑑賞した後、各教室に分かれて交流しました。

座学が盛り上がったため遊びの時間が減ったクラスもありましたが、授業が終了した後も講師を囲んで握手やサインを求めて、別れを惜しむ児童の姿がたくさんありました。



お題は「校長先生」 ジェスチャーゲーム中ハプニングもあり大爆笑

令和6年1月18日(木) 高梁市立巨瀬小学校

講師：ウズベキスタン、ベトナム 計2名

出身地の紹介で児童たちは講師の母語で自己紹介の練習をし、一人ひとり発表しました。

遊びの時間ではダーカウやジェスチャーゲーム、英語の数字しりとり等、講師が次々に紹介する遊びにどんどん挑戦し、終始歓声が上がっていました。



ダーカウ、楽しいけどむずかしい

地域共生サポーター養成講座・研修会

令和5年11月18日(土)

基調講演講師:吉富 志津代 氏(武庫川女子大学国際センター長、教授/NPO法人多言語センターFACIL特別顧問)
活動事例発表:大倉 美恵 氏(INE居場所づくりネットワーク)

外国につながる子どもたちへ、地域共生サポーター(※)としてどのようなことができるのか—そのヒントを求め、16名の参加者が集いました。多様で豊富な支援経験を持つ吉富氏の講演では、外国につながる青少年が抱えやすい困難やその解決方法について、学術的な角度からもわかりやすく説明されました。なかでも「子どもが自信をもってアイデンティティを形成するためには母語や母文化を学べる環境が大切」との言葉が印象に残ったという感想が多くありました。



左から吉富氏、大倉氏



ワークショップでの吉富氏(右)

身近な活動事例として、県内で外国につながる親子のサポートを行うINE居場所づくりネットワークの活動について大倉 美恵氏が発表しました。異なる専門性を持つ複数の団体がつながり、多角的で継続的支援の展開を目指している話などから、ネットワーク形成の大切さを学びました。

※県内の在住外国人に対し、コミュニケーションや社会活動など、生活面での支援を行うボランティアとして県に登録した方

第2回 親子で遊ぼう-Family Friendly Event-

令和5年11月19日(日)

講師:ドレー・イゴール 氏
ブルー ビレッジ インターナショナル
(BLUE VILLAGE INTERNATIONAL NPO 代表・フランス出身)
通訳・講師補助:川端 聖雄 氏(高校生・フランス出身)

講師に、フランス語のほか英語やスペイン語も堪能な元高校教師のイゴール氏を迎え、息子のまさお氏が通訳として参加し、明るく元気なイベントを行いました。外国人のボランティアも加わり、参加者と合わせ40名で多言語を使ったゲームをしたり、ダンスを踊ったりしました。今回は「親子で遊ぼう」という名のとおり、子どもだけではなく保護者も含め、全員参加のイベントにしました。



イゴール氏



まさお氏

例えば、英語を使ったゲームFISH BALL。これは海の大王イゴールさんから預かった大切な卵を小魚役の子どもたちが冒険をしながら基地まで無事届けるゲームです。保護者は敵(カニやザリガニ)のお面を付けて「食べちゃうぞ〜」と小魚の進路を妨害します。ところがゲームが進行するにつれ、敵であるはずの保護者たちが英語の質問に苦戦する小魚たちの応援団になり始め、最後にはどの子どももみんな「頑張れ、頑張れ!」と応援し無事ゴールを喜び、という心温まるゲームになりました。



英語の質問に答えたら通れる「関所」



しっぽ取りゲームの一場面

ワールド・エクササイズ事業

「ニュースポーツを楽しもう ～秋の国際交流運動会～」

令和5年11月23日(木・祝)

場所:岡山県総合グラウンド ジップアリーナ岡山(サブアリーナ)

共催:岡山県総合グラウンドコンソーシアム・チーム岡山(一般社団法人岡山県総合協力事業団)、岡山県日中懇話会

協力:一般社団法人岡山県レクリエーション協会、特定非営利活動法人スポーツライフ'91天城



チームメイトと喜びあったり、アドバイスをしたり

会場の様子

今年度のワールド・エクササイズは、場所を岡山国際交流センターからジップアリーナ岡山に移し、開催しました。日本人と外国人参加者がおよそ半数ずつの割合で集まり、進行をサポートする留学生ボランティアなども合わせると14か国、74名が参加しました。アイスブレイクゲームとラジオ体操でウォーミングアップしたのち、チーム対抗戦で3種目のニュースポーツを体験しました。

ニュースポーツは年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず誰でも一緒に楽しめます。今回の参加者も多国籍であることに加え、幅広い年齢層の方々が集まり、日本人も外国人も、子どもも大人も入った混成のチームができました。今回体験したのは、氷上スポーツのカーリングを室内で手軽に楽しめるようにと考案され、底面にベアリングがついたローラーを押し出して的中心を狙う「カローリング」、ボールを投げて途中に置かれたゲートをくぐらせ、その先にあるボウリングのピンを倒す「スマイルボウリング」、基盤目状のマットに向かってゲートボールのスティックでボールを打ち、五目並べのようにボールを並べ得点を競う「囲碁ボール」という3種目です。

参加者へのアンケートによると、参加者の9割以上が「ニュースポーツを初めて知った」あるいは「聞いたことはあるけど、するのは初めて」ということでしたが、協力団体のスタッフからルールの説明を受け、会場のあちらこちらで白熱した試合が繰り広げられました。チームはそれぞれ一致団結し、チームメイトに声援を送ったり、うまくいくとハイタッチをして喜びを分かち合ったりしていました。最後には勝ち点の多かった上位3チームに賞状と記念品を渡しました。

優勝!



囲碁ボール



カローリング



スマイルボウリング

餃子づくり体験

令和5年12月16日(土)

講師: 劉新雲氏(中国)、劉萍萍氏(中国)、林傑屏氏(台湾)

岡山国際交流センターで餃子づくり体験イベントを開催しました。

留学生3名と参加者13名が、「鶏肉と白菜の餃子」と「エビとニラ玉の餃子」を作り、食を通じて楽しく交流しました。

今回のイベントでは、留学生の「我が家の味」として2種類の餃子の作り方を教えてもらいました。

餃子の作り方は家庭によって違いますが、基本的にどんな食材を入れても良いそうです! 味付けは薄めにして、タレで調整するのがポイントです。

初めて会った人同士でも、一緒に調理し、食卓を囲むと自然と心が通じ合い、楽しく交流できました。

食は人と人を結びつけることを実感した1日でした。



餃子の皮も、手作りしました!

おいしい餃子ができました

餃子を包みながらおしゃべり♪

留学生から教わった餃子の作り方をご紹介します!

■材料

〈鶏肉と白菜の餃子〉

鶏ひき肉、白菜、青ねぎ、しいたけ、しょうが

〈エビとニラ玉の餃子〉

おきえび、ニラ、しょうが、卵

〈調味料〉

〈タレ〉

塩、しょうゆ、ごま油 しょうゆ、酢

※分量はお好みで調整してください。

■作り方

① 具材の野菜、おきえびはみじん切りにします。

② 白菜、ニラ、ネギなどの野菜は塩もみをして5分ほど置いた後、手でよく絞って水気を切ります。

③ 溶き卵をフライパンで加熱し、炒り卵を作ります。

④ 具材と調味料を混ぜ合わせて、餡が完成します。

⑤ 餃子の皮(厚めが良い)で餡を包み、たっぷりのお湯でゆでます。浮いてきたらできあがりです。

タレにおろししょうがをたっぷり入れると、さっぱりおいしいです!

きざみニンニクと唐辛子を入れ、加熱したごま油をタレに入れるとピリ辛に!

国際理解学習プラン講師派遣事業



国際分野で活動する県内のNGO6団体を、応募のあった小・中・高校10校へ派遣し、12件の国際理解学習プランを実施しました。

派遣団体(五十音順)	実施校(実施順)	プラン名
アジア農村協力ネットワーク岡山	倉敷市立帯江小学校 玉野市立山田小学校 岡山市立七区小学校	お米を食べる国 何が同じで何が違う?
岡山青年国際交流会	岡山市立岡山後楽館中学校・高等学校	Appreciating differences —ちがいを理解し、受け入れるために—
岡山ユニセフ協会	玉野市立山田小学校 ノートルダム清心女子大学附属小学校 総社市立総社中学校	考えてみよう 世界と自分のこと
世界女性会議岡山連絡会	ノートルダム清心女子大学附属小学校	私たちが考える持続可能な社会 —平等・開発・平和—
ダフェプロジェクト	山陽学園中学校・高等学校	「多文化共生のまち 岡山」を考えよう
特定非営利活動法人AMDA社会開発機構	岡山市立陵南小学校 岡山市立野谷小学校 新見市立大佐中学校	世界の多様性と格差からSDGsを学ぼう —「誰一人取り残さない」世界の実現に向けて 今、私たちが知るべきことやるべきこと—
6団体	延べ12校	

外国人エッセイ

私の何でも 自慢

けるがーどたいらー
ケルガード・タイラーさん
べいこくわしんとんしゅうべりんはむしゅっしん
(米国ワシントン州ベリンハム市出身)
おかやまけんこくさいかこくさいこうりゅういん
●岡山県国際課 国際交流員 (CIR)
ねん がつちやくにん
(2023年10月着任)
にほんたいざいれき げつ
●日本滞在歴:5か月



おかやまけん あら こくさいこうりゅういん たいらー ちやくにん
岡山県の新たな国際交流員にタイラーさんが着任しました。

出身地はどのような町ですか？

べりんはむしゅ市は、「City of Subdued Excitement」な町。
やくすの少し難しいですが、ちょっとのんびりした雰囲気
の町、という感じです。たくさんのカフェとクラフトビール酒造店
があり、自然に囲まれているのでどの季節でもいろいろなア
ウトドア系の活動ができます。是非自然が好きならベリンハム
市を訪ねて楽しんでください。



べりんはむしゅ市とベーカー山 写真:Nick Kelly/CC BY-SA 4.0



ベーカー山周辺のハイキングコース

大学では何を専攻したのですか？

わたしがつぞう べりんはむしゅにしわしんとんだいがく
私が卒業したのはベリンハム市の西ワシントン大学です
が、実は最初の2年間は東ワシントン大学で過ごしました。
もともとコンピューター科学を専攻するつもりでしたが、

にしわしんとんだいがくへんにやがくとき にほんごへんこう
西ワシントン大学に編入学した時に日本語に変更しました。
ですが、編入したあと、日本語の勉強は続けながらも専攻
を再びコンピューター科学に戻しました。結局のところ、専攻
はコンピューター科学で、副専攻は数学と日本語にしました。

日本で働くことになったきっかけは？

ちゅうがくせいころ にほんぶんか きょうみ も おんがくき
中学生の頃日本の文化に興味を持ち、よく音楽を聴い
たり、アニメを見たりしました。そして高校生の頃、日本語の
勉強を始めました。日本の文化と言語を学ぶうちに、ある時
「日本で働いてみたい」という思いが湧いてきました。そのた
め、決心して短い間ですが東京に留学しました。その体験を
とお にほんはたら いし かた ねん がつ おかやまけん こく
さいこうりゅういん ちやくにん
通して日本で働く意思を固め、2023年10月に岡山県の国
際交流員に着任したのです。

タイラーさんの自慢は？

2005年にワシントン
州に引っ越した時から
始まったハイキングなど
のアウトドア活動に加
え、いろいろな趣味があ
ります。その中でも特に
自慢なのが言語学習と
電気工学です。日本語
の勉強に加えて、昨年
偶然にもエスペラント語
(人工の国際共通語)
に出会い、ほどなくそ
れも学び始めました。
また、電気工学の分野
だとプリント回路基板
(PCB)のデザインが



自作のキーボード

できることも自慢ですね。実は自分のキーボードのPCBを自
分でデザインして作ったんですよ！

読者の皆さんにひとことどうぞ。

おかやまけん みな こうりゅう たの
岡山県の皆さんとの交流を楽しみにしています！

語学講座の ご案内

インドネシア語・韓国語・中国語・日本語講座が協会で開催されています。今回は**日本語講座**のご案内です。



日本語講座は、毎週火曜日から土曜日まで実施しています。入門レベルから中級レベルまでの29の国・地域、86人*の学習者が様々な目的を持って日本語の勉強にきています。在住外国人が増加しており、協会の日本語講座も人気です。

日本語学習の支援を行っているボランティアの皆さんに話を聞いてみました。*令和6年1月末時点

ONNボランティアの会の皆さん



山口さん
ボランティア歴: 8か月

Q: 日本語ボランティアを始めたきっかけを教えてください。

A: 日本語教師養成講座を受講中、学校の先生がONNボランティアの会を紹介してくださいました。ボランティアを始める前に授業の見学ができるので、活動のイメージがつかみやすいと思います^_^

Q: 日本語を教えるために日本語教師の資格は必要ですか？

A: 日本語教師の資格がなくてもボランティアで教えることはできます。ただし、団体によっては条件を設けているところもあります。ONNボランティアの会は、日本語教育能力検定合格または教育機関での420時間修了し実習済みの方が入会することができます。

Q: 日本人なら誰でも日本語を教えられるですか？

A: 教えられるとは思いますが。文法や語彙など系統たてて学習したほうが覚えやすいと思うので、教える順序ややり方を考える必要はあると思います。



高田さん
ボランティア歴: 25年

OJCのボランティアの皆さん (OJCは日本語教師の資格は必要ありません)



角南さん
ボランティア歴: 12年

Q: 英語が話せません。日本語ボランティアになれますか？

A: なれます。実際、OJCでは英語が話せても英語を使って教えていません。

Q: どのような人が日本語ボランティアに向いていると思いますか？

A: 日本・文化を愛し外国の文化にも興味のある人が向いていると思います。

Q: 日本語ボランティアはどのようなところが魅力的ですか？

A: 様々な文化に触れる機会が増え、毎週プチ海外旅行をしている気分になります。長く続けるうちに世界中に友達もできます。学習者を通して日本語と日本文化のすばらしさを再発見できます。学習者が新しい言葉を使えるようになったり、生活の中の問題が解決したりするとうれしそうに報告してくれます。



浦上さん
ボランティア歴: 12年



大辻さん
ボランティア歴: 39年

Q: 日本語を教えるときに大切にしていることは何ですか？

A: 相手の文化を尊重しつつ、単にコミュニケーションの手段としての日本語を教えるだけでなく、実際に生活の中で使えるようにするために、言葉の裏にある日本人の考え方や日本の文化を感じ取ってもらうことを大切にしています。

日本語講座に興味を持った方は、次の団体・各担当にお問合せください。日本語講座は協会と連携している所属するボランティア団体で運営しています。

NPO法人岡山日本語センター
(OJC)
浦上: ojc@diary.ocn.ne.jp

岡山日本語教師ネットワーク (ONN)
【火曜日 18:30~20:10】
荒木: tomoko_logan@hotmail.com

【木曜日 10:00~11:40】
高田: shina_nozaki@yahoo.co.jp

ボランティア活動しています！

ITボランティア
ながいらいと
永井 来人さん



ITボランティア活動のきっかけと内容

大学でカメラを使い始めたこと、また大学の授業で「コンシェルジュのおしゃべりサロン」のボランティアにお声掛けいただいたことがきっかけとなって、ITボランティアとして写真撮影を始めました。

現在は、「コンシェルジュのおしゃべりサロン」をはじめ、いくつかのイベントで写真撮影のお手伝いをしています。ボランティア活動を始めたころは、いろいろと不安もありました。しかし少しずつ経験を重ね、今ではいい写真が撮れた時や自分の撮った写真を広報に使用していただいていることがやりがいとなって活動を続けられています。

ITボランティア活動を通して

この一年ほど、イベントに参加する人たちの様子をカメラに収められました。国籍やバックグラウンドの異なる人たちの交流では、日常とは一味違った空気感があります。それは、自分の知らなかった世界に触れ、驚き、また発見することで生まれるものではないかと思えます。私自身にとっても、このボランティア活動は、ふだんの写真撮影とは異なる貴重な体験であると感じています。これからもこの活動を通して、そうした雰囲気や少しでも多くの人に知ってもらえるような写真を撮っていきたいです。



私の撮影した「ニューススポーツを楽しもう～秋の国際交流運動会～」の様子

脂ののった魚
と食べるのも
お気に入り



作ってみよう！ 世界のレシピ

モーリオ・ピナグレッツ

ポルトガル語で、モーリオはソース、ピナグレッツは酢を意味するさっぱりとした野菜ソースです。作る過程に火を使う面倒な工程はありません。肉にかけてもよし、魚にかけてもよし。そんなブラジルの万能ソースを紹介いたします。

牛肉との相性は
抜群



材料 (3人分)

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| A: | B: |
| 玉ねぎ…………… 1/2個 | 塩…………… 小さじ1 1/2 |
| トマト…………… 1/2個 | サラダ油…………… 大さじ3 |
| ピーマン…………… 1個 | 酢(または、レモン汁) |
| 香草(パクチー、大葉、ネギなど) …… お好みで | …………… 大さじ1 |
| | 水…………… 30ml |

作り方

- ① Aをすべてみじん切りにする。
- ② ①とBを混ぜる。
ポイント: ソースがさらつとなるように野菜の水分と水で調整してください。
- ③ 肉・魚のBBQや揚げ物などにかけて食べる。

レシピ紹介者
なかじま
中島 あゆみさん
(ブラジル出身)





「草の根技術協力事業」 って何なん？

「草の根技術協力事業」あまり聞きなれない言葉かもしれません。この事業を行うのは、日本の団体（NGO、地方自治体、大学、民間企業など）です。それぞれの団体が、これまでの活動を通じて蓄積した知見や経験を生かして活動します。団体、JICA、そして現地の協力団体が協力しながら実施しています。

主な分野は、教育、平和構築、保健医療・福祉、農業、環境など。日本人専門家を現地に派遣して、技術指導を行います。また、関係者を日本に招いて研修を実施したりもします。さまざまな団体の特性を活かした事業が、開発途上国を元気にしています！



アムダマインズのホンジュラスでの事業
大きく育ったキュウリを収穫する村人



やすらぎ福祉会のベトナムでの事業
報告会で体操を披露する体操リーダーたち

事業実施件数が特に多い 岡山県

草の根技術協力事業が始まってから、20年がたちました。中国5県で実施された事業数は70件にのぼります。その中で、岡山県の団体が取り組んできた（または取り組んでいる）事業は27件と、中国5県全体の約40%を占めています！

ローカルでグローバルな挑戦

中国地方には、世界に飛び出し、開発途上国を元気にする活動をしている方がたくさんいます。みなさん、開発途上国の課題は、日本の地方が抱える社会課題と共通しているとおっしゃいます。そこで、現地で得たつながりやノウハウを使い、日本の地方を生き生きとさせる活動もされています。

JICA中国は、世界も日本の地方も元気にするために日々奮闘されているみなさんの思いをまとめた報告書を作成しました。報告書のタイトルは「持続可能な未来を創るための国際協力と地方創生」。2024年2月17日（土曜日）には、広島県で「世界も地方も元気にする」をテーマとしたトークイベントも開催しました。トークイベントでは、報告書には書ききれなかった思いや経緯をさらに深堀りしました。

報告書に興味をお持ちの方は、データでのご提供になりますが、右のQRコードよりお申込みいただけます！



持続可能な未来を創るための
国際協力と地方創生（冊子の表紙）

国際協力に関するご相談は岡山県JICAデスク（長谷川）まで。

E-mail : jicadpd-desk-okayamaken@jica.go.jp / 電話 : 080-2934-8497

Facebook : <https://www.facebook.com/jica.okayama>

インドネシア語講座

インドネシア語は日本人にとって発音しやすく、覚えやすい言語です。インドネシア人の先生と楽しく学びませんか。見学は無料ですのでお気軽にご参加ください。

- と き 初級:土曜日 13:00~14:45
中級:日曜日 13:00~14:45
- ところ 岡山国際交流センター 6階 会議室(初級) 4階 図書資料室(中級)
- 講師 インドネシア出身留学生
- 受講料 15,000円 (1年間 全42回、テキスト代別)
協会会員費2,000円別途要)
- 定員 初級 12名、中級 16名
- 共催 岡山インドネシア友好協会
- 申込み 岡山インドネシア友好協会 岡田氏 TEL:0863-31-4510

中国語講座

前期4月、後期10月開始の講座です。中国出身の講師がレベル別に教えます。各クラス無料で1回見学ができます。

- と き 土曜日:入 門 17:40~19:10 初 級 19:20~20:50
上級A 10:00~11:30
日曜日:中 級 17:00~18:30 上級B 10:00~11:30
※上級A、Bは同じレベルです。
- ところ 岡山国際交流センター4階 図書資料室 6階 会議室(上級Aのみ)
- 講師 中国出身留学生
- 受講料 協会会員 18,000円 一般 21,000円
高校生以下 16,000円 (半期6か月21回、テキスト代別2)
クラス以上受講時5,000円割引)
- 定員 上級A 12名、その他 16名
- 共催 岡山県華僑華人総会
- 申込み 岡山県華僑華人総会事務局
TEL:086-201-1076 (月~金10:00~17:00)

韓国語講座

レベル別に4クラスあります。韓国出身の講師が丁寧に教えます。韓国文化、語学に興味がある方、一緒に楽しく学びましょう。

- と き 入門:第2・4金曜日 初級:第2・4水曜日
中級:第1・3水曜日 会話:第1・3金曜日
18:30~19:40(日程は変更することがあります)
- ところ 岡山国際交流センター4階 図書資料室
- 講師 金良禧氏、金允姫氏
- 受講料 協会会員 8,000円 一般 10,000円(全20回、テキスト代別)
- 定員 各クラス20名
- 申込み 企画情報課

日本語講座

毎週火曜日から土曜日まで日本語講座を実施しています。

- と き 火曜日:10:00~11:40/18:30~20:10
水曜日:10:00~11:40/18:30~20:10
木曜日:10:00~11:40
金曜日:10:00~11:40
土曜日:15:10~16:50
- ところ 岡山国際交流センター 6階 会議室
- 受講料 無料(ただし、ジャパニーズクラス(年会費2,000円)に)
入会が必要です
- 定員 入門~中級 各講座25名
- その他 1人2講座まで(希望に沿えないこともあります。)
- 申込み 企画情報課

かいほうし あんけーと ねが こんご さんこう
会報誌アンケートのお願い 今後の参考にさせていただくため、ご協力をお願いします。

特別展「生誕80年・没後20年記念 小林正和とその時代—ファイバーアート、その向こうへ」(岡山県立美術館開催) チケットを5名様にプレゼント!

令和6年4月6日(土)までにアンケートにご協力いただいた会員の中から抽選で5名の方に、標記特別展(会期:令和6年4月19日(金)~5月26日(日))チケット2名分をお送りします。発表は発送をもって代えさせていただきます。



小林正和(1944-2004)は、京都に生まれ、1970年代後半から2000年代にかけて、ファイバーアート(繊維造形)の第一人者として国内外で活躍、1995年からは岡山県立大学で後進の指導にあたりました。本展は、小林の生誕80年・没後20年を記念する回顧展で、小林の代表作や関連資料を紹介するとともに、同時代で活躍した作家たちの作品を加え、国際的にも高く評価された日本のファイバーアートの展開を概観します。

小林正和((Sound collage-93)) 1993年、京都市美術館蔵



会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員:2,000円 団体会員:10,000円
賛助会員:30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00~17:30(月~土曜日)
E-mail:kokusai@opief.or.jp

最新情報は、当協会のホームページやFacebook、X(旧Twitter)等で随時お知らせします。



ホームページ



Facebook



X(旧Twitter)



Instagram



問合せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会 企画情報課

☎086-256-2914 (月~土 9:00~17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月~土 9:00~17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00~17:30)

[休館日] 12月29日~1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

■編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1
岡山国際交流センター内 一般財団法人 岡山県国際交流協会
☎086-256-2000(月~土 9:00~17:30)
☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

X(旧Twitter): https://twitter.com/opief_okayama

Instagram: https://www.instagram.com/opief_okayama/

E-mail: kokusai@opief.or.jp